

タンザニアにおける問題点と要望

区分	経由団体	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
9 輸出入規制・関税・通関規制	日機輸	(1)	通関手続の地点	・港(空港)における手続が10～14日を要し、多額の在庫・資金負担となる。 (継続)	・港湾手続・税関の抜本的な能力改善が求められる。	
	日機輸	(2)	出荷前検査の義務付け	・2012年度から製品を輸入する場合に第三者機関の出荷前検査が義務付けられ、以前の通関時での自国で検査に比べコスト負担増加。 (継続)	・この制度により密輸等の不正を規制出来ればよいが、実際には不正が横行しているため、制度の運用を厳格に実行して頂きたい。	・税関関連法
13 金融	日機輸	(1)	過度の銀行保護	・現地通貨貸出金利:16～22%、預金金利:0～2%。 US\$で5～7%と世界相場から乖離。 中央銀行による銀行保護が強すぎる。 (継続)	・金融コストが過大。	
14 税制	日機輸	(1)	非効率な課税業務	・税務当局(TRA)のレベルが低く、追徴レターの乱発・間違い等、対応時間・コスト(コンサルタント)が甚大である。 (継続)	・当局内の権限・窓口の整備を行い、年度順序に沿った監査が求められる。	
26 その他	日機輸	(1)	電力供給不足	・電気普及率が24%に留まりながら、日常的な停電多発に加え、料金の上昇が継続。また、停電時のジェネレーター使用による燃料コスト負担発生。 (継続)	・基本的な能力改善は元より、組織運営費の透明性が求められる。	